

発行所 〒102-0083
 東京都千代田区麹町4-5 海事センタービル内
 公益社団法人日本海洋少年団連盟
 電話 03(5213)4778
 (年6回奇数月の1日)
 購読料 1部10円(送料実費)
 会員会費には購読料が含まれる
 振替東京 5-13846番



ちかい
 1. 海のような広い心で団結し
 すべての人を友とします。
 2. からだをきたえ、心を養い
 立派な海の子になります。

1. 海外への派遣事業
 令和7年7月28日(8月4日の日程で韓国へ指導者1名(福岡団) 団員3名(福岡団1名、中日団1名、南勢団1名)

I 令和7年度事業報告及び会計報告
 令和7年度事業報告が審議されました。令和7年度事業報告が、1月24日ホテルマリナーズコート東京で開催されました。橋川国際委員長挨拶のあと、令和7年度事業報告及び会計報告、並びに令和8年度事業計画及び予算計画案他が審議されました。

令和7年10月28日(31日の日程で、ホテルマリナーズコート東京において日本が議長国となり開催しました。日本からは、橋川国際委員長が議長役を務

め、平田理事長他が参加しました。会議は、准会員であったケイマン諸島が全会一致で正会員に承認され、ISCA会員は23カ国・地域となりました。また、常勤職員を置かず議長国の持回りで運営しているISCAの運営体制に、より実効性と継続性を持たせるべく、会長職と総会議長との役割の分離、会長職任期の複数年化をはじめとした協会規約の全面改正が全会一致で承認され、新規約のもとで、新議長(ケイマン諸島)及び事務局長(米国)が選出されました。

2. 2026年ISCA A年次総会
 10月にバルバドスで開催予定のISCA年次総会に代表者を派遣します。

3. 会計報告
 令和8年3月末までの見込み額が承認されました。

4. 予算計画(案)
 上記活動実施のため見込み額が承認されました。

1. 海外海洋少年団の招請
 令和8年7月25日(土)に東京にて開催される令和8年度全国海洋少年団大会(式典の部)の日程に合わせ海外団を招請します。式典に参加の後、東京を拠点として、海上保安庁関連施設の見学、若手スポーツ体験等を行う予定です。

2. 2026年ISCA A年次総会
 10月にバルバドスで開催予定のISCA年次総会に代表者を派遣します。

3. 国際交流経験者と団員との交流会(仮称)の開催
 国際交流事業の実態と魅力を広く発信することにより、国際交流活動に関する理解と関心を深めてもらうことを目的として、連盟と参加希望者(指導者・団員)によるTeamを利用したWEB会合を開催します。

4. 予算計画(案)
 上記活動実施のため見込み額が承認されました。

3. 会計報告
 令和8年3月末までの見込み額が承認されました。

今月の主な記事
 2面 青森港発・函館行き海事研修
 2面 活動報告(新年の行事)
 3面~4面 活動報告
 4面 みどりの広場、連盟だより

令和7年度 第二回通常理事会
 【日時】令和8年3月13日(金)
 【場所】日本船主協会役員会議室
 (東京都千代田区平河町2-6-4海運ビル)
令和8年度 第一回通常理事会
 【日時】令和8年5月15日(金)
 【場所】日本船主協会役員会議室
 (東京都千代田区平河町2-6-4海運ビル)
令和8年度 団長会議・定時総会・臨時理事会
 【日時】令和8年6月19日(金)
 【場所】ホテルマリナーズコート東京
 (東京都中央区晴海4-7-28)
 ※詳細については決まり次第お知らせします。

令和7年度 第二回通常理事会
 【日時】令和8年3月13日(金)
 【場所】日本船主協会役員会議室
 (東京都千代田区平河町2-6-4海運ビル)
令和8年度 第一回通常理事会
 【日時】令和8年5月15日(金)
 【場所】日本船主協会役員会議室
 (東京都千代田区平河町2-6-4海運ビル)
令和8年度 団長会議・定時総会・臨時理事会
 【日時】令和8年6月19日(金)
 【場所】ホテルマリナーズコート東京
 (東京都中央区晴海4-7-28)
 ※詳細については決まり次第お知らせします。

令和8年度全国海洋少年団大会(式典の部)
 【日時】令和8年7月25日(土) 14時から
 【場所】東京都千代田区永田町2-16-14 海運ビル2階ホール

令和7年度 国際委員会開催



今年度の全国大会「競技の部」が終了したことを受け、1月24日、全国の各地区の代表者及び担当者出席いただき、「全国大会ミーティング」を開催しました。日本海洋少年団の全国大会は、令和6年度より1年ごとに「式典の部」と「競技の部」を分散開催する方式となり、今年度の「競技の部」は8月から10月にかけて実施しました。ミーティングでは、冒頭、権藤副会長の挨拶の後、議題1として、「式典の部」の概要を連盟から説明し、意見交換を行いました。表彰対象者である指導者・

団員が一同に会する機会を継続でき、特に団員のモチベーション向上が期待できる貴重な機会であるので、この場を活用して団員等が交流できるプログラムを検討してほしいとの意見が出ました。次に、議題2として、「競技の部」の実施状況について、各地区の代表者から、今回の成果や反省点、次回大会への展望などについて発表を行いました。これに対し、全国6地区での大会を各団連携して円滑に実施することができた、地区内または隣接団との交流も進むなど一定の成果が得られたとの意見のほか、競技内容や交流イベントについて充実したいなどの要望がありました。

特に、競技内容については、新たに加わった手旗競技Bクラスについて満点合格者が少なかったことから、問題の出し方をめぐって議論が行われ、次回大会に向けて改善方針がまとまりました。今回のミーティングは、各地区の実施状況について情報共有を図ることができ、これまでの経験を踏まえ、次回の「競技の部」を大会運営の力量や実情に見合った規模・内容へと発展させるための有意義な場となりました。

全国大会ミーティング開催

第54回 絵画コンクール 我ら海の子展

募集期間 令和8年4月1日~6月25日

全国の少年少女の皆さん、私の海「船」「海や船で働く人」などをテーマにした作品を募集します。海洋少年団の皆さんも積極的に応募してください。

■テーマ 「私の海」/船舶、海や船で働く人、海環境保全、海の生物など、海を自由に表現

■応募資格 中学生、小学生、幼児

■規定 ・4つ切り画用紙(38×54cm)、タテヨコは問わない
 ・絵の具・クレヨン・貼り絵など自由
 ・裏面に郵便番号、住所、氏名(ふりがな)、年齢、電話番号、学校または幼稚園名、学年を明記(海洋少年団員は団名も記載すること)

■賞 国土交通大臣賞 (中学生の部、小学生高学年の部、小学生低学年以下の部)、日本海洋少年団連盟会長賞他多数

■催しの選抜 〒102-0083 東京都千代田区麹町4-5 海事センタービル内 (公社)日本海洋少年団連盟「我ら海の子展」宛

■主催 (公社)日本海洋少年団連盟 (一財)サークルクラブ協会

■お問い合わせ 日本海洋少年団連盟 (TEL03-5213-4778)

第53回受賞作品 国土交通大臣賞 中学生の部 高橋 遼愛(中3) 「苦しくて僕で悲しくて 幸せな鯨と海月」

津軽海峡を越えて海に学ぶ 青森港発・函館行き 海事研修を実施

令和7年10月11日から13日まで、八戸団・団員11名指導者5名、札幌団・団員4名、指導者3名及び日本連盟1名の参加で海事研修を実施しました。

この海事研修は、海事に関する理解を深め、参加者同士の交流を促進することを目的に今年度よりスタートしました。

初日、八戸団は青森港へ到着後、まず車両の荷役作業を見学(写真①)。津軽海峡フェリーの「ブルーハイウェイ」に乗船し10時15分函館に向けて出航しました。

船内では設備見学(写真②)や一等航海士・山崎氏による船の構造やロープワークに関する講義が行われ(写真③)、約3時間40分の船旅を終えて函館港に到着。

港で待つ札幌団と合流した後、函館ターミナル内で北海道運輸局の崎野氏による講話が行われ、北海道の物流や船の仕事、運輸局の役割について学びました。



その後、宿泊先の「ふるる函館」へ移動し、夕食後は団員の自己紹介やレクリエーションで親睦を深め(写真⑤)さらに、手旗やロープワーク競技を行い、両団が切磋琢磨し、和やかな中にも緊張感ある交流が展開されました。

また、宿泊先は函館山のふもと近くであったことから、函館山の熊の出没状況について職員に尋ねたところ、「ふるる函館」での出役はない」との回答に一同安堵した様子も伺えました。

2日目も研修会や交流会(写真⑥)のあと解散式を行い、札幌団は一足早く帰路に着きました。解散式では再会を願う声も多く聞かれました。

最終日は、函館市内を散策後、函館港へ移動し「ブルーハイネス」にて12時30分に出航。約3時間30分後青森港に到着し帰路に着きました。

本研修を通じて、参加者は「海に学び、海に親しむ」という理念のもと、海事への関心と理解を深め、かけがえのない絆を育むことができました。

なお、船内見学や乗船手続き、タクシー・お弁当の手配など、津軽海峡フェリー(株)の皆様のご支援と北海道運輸局のご協力により、研修を無事に終えることができました。

活動報告 新年の行事



新潟団



2026年、新潟団の初訓練はスキー訓練で始まりました。

今回は団員5名、指導者4名の計9名が参加しました。新潟市から車で約1時間半の場所にあるニノックススキー場は初級コースと中級コースのみの、こじんまりとしたスキー場です。参加者全員が経験者ということもあり、それぞれが上達のための目標を持ち、指導者が同行して滑りました。一年ぶりの海洋少年団スキーを皆で存分に楽しむことができました。

船橋団



船橋団では年初に、地元・船橋大神宮で安全祈願祭を行います。そして翌週は初訓練を実施。年男である二人の団員には、新年の抱負を述べてもらい、改めて「ちかい」と「やくそく」を再確認してもらいました。

今年は大学や高校受験を迎える高校生や中学生、新たに中学校へ進学する多数の団員はもちろん、通常通り進級する団員も、皆それぞれの未来に向かって羽ばたいて、いや、漕ぎ出してほしいものです。

四日市団



1月24日、四日市市三浜文化会館にて令和8年最初の基本訓練を行いました。

団長の年頭挨拶に始まり、団員としての心構えについて上級指導者から具体的な事例を交えながら指導を受けました。その後、基本動作、手旗(数字)の起信・応信訓練などの実技訓練を実施しました。

最後に団員・上級指導者に団長・副団長を交え「今後、団活動を活発化させるためには」をテーマに意見交換を行い、この日の基本訓練を終了しました。

敦賀団



1月11日、敦賀団の訓練を恒例の「氣比神社」で行いました。

例年はあまり天候が大きく崩れることはありませんが、今年は時折雪が舞う一日となりました。

特に、全員で初詣を終え、手旗の奉納に移るために整列した瞬間から吹雪となり、手旗を打ち終わると雪が止むという非常に過酷な状況でした。

今年の手旗訓練は厳しい一年になるかもしれませんね。全国の皆様、今年も敦賀団をよろしくお願いたします。

神戸団



1月10日恵比寿の日、西宮神社では早朝から恒例の福男選びが行われました。

一方、私たちは神戸団活動の1年の安全の祈願をするため、「垂水海神社」へ初詣に行きました。昨年入団した新入団員から今年卒団を迎えるベテラン団員まで揃い、神戸団活動の安全祈願として神主さんからのご祈祷を受けました。今年も活動がウマク行く予感。干支のご利益もあるでしょうか。

福岡団



1月11日「海上交通の安全祈願」

今年の訓練初めは、洋上三社参りを予定していましたが、悪天候のためモーターボートの出艇は残念ながら中止となり、指導者の車に分乗して志賀島の志賀海神社へ参拝に行きました。

当日の海は大荒れで、強風のため事務所のドアの開閉にも苦労するほどでした。雪がちらつく寒い中ではありましたが、境内にて手旗の奉納を無事に行うことができました。今年も元気に活動してまいります！

横須賀団

☆潜水艦見学☆

2月1日、アメリカ軍横須賀ベース内に停泊している海上自衛隊の潜水艦「たけしお」の見学を横須賀団と横浜団が合同で行いました。まず、団員たちはブ



リーフィングルームにて説明を受けたあと、船首から船尾まで艦内を見学し、潜望鏡を覗いたり、乗員の方々に多くの質問をしたりと興味深く学んでいました。今回は2団合同でしたので、団員同士の交流も生まれ、貴重な見学会となりました。

中日団

☆海の管制官お仕事見学☆

2月1日、中日団の団員5人は、名古屋港海上交通センターにご招待いただき、海の管制官のお仕事見学と体験を行いました。



センター内を案内していただき、どのような業務を行っているのかを分かりやすく説明していただきました。体験では、港内のレーダー画面を前に、トラシシーバーを使った模擬交信に挑戦しました。団員たちは緊張しながらも、大型船の通信士や管制官になった気分



で楽しんで取り組めたようです。また、その前の週には、先輩指導者が乗船中の巡視艇「いづくしま」を見学させていた

だき、海上保安官の皆さんをより身近に感じた2週間となりました。

南勢団

☆訓練始めの耐寒訓練☆ 剣峠を越えて☆

新春1月11日、風があり肌寒い曇り空の中、51回目となる恒例の耐寒訓練が、団員を中心に保護者や保護者OB、一般の方々、さらに東京の方やスタッフも含め計23名が参加して行われました。今年

参加された皆様にお礼申し上げます。また、例年のことながら町水産農林課より伴走車を出していただき、ありがとうございました。



場所を「愛洲の館」に変更し、諸注意の後、午前8時10分に出発しました。切原陶芸の里で休憩後、旧道を通って伊勢神宮を目指しました。今年

藤沢団

☆年末の餅つき☆

12月14日の訓練日は、毎年恒例の餅つきを行いました。湘南海上保安署の一面をお借りして、団員・指導者・保護者が参加

するイベントです。当日は、湘南署の職員の方も休憩時間に餅つきに加わってください、会場は大いに賑わっていました。団員たちは、磯辺餅、あんこ餅、おろし餅など、つきたてのお餅と豚汁を存分に味わいました。



敦賀団

☆ヨット訓練☆

当団では、普段から年少団員から高等級団員まで全員が一緒に訓練を行っているため、中・高等級団員のやる気をさらに引き出す取り組みができませんか以前より検討していました。そんな中、敦賀市内

出があり、喜んでお受けすることになりました。継続が必要のため、4月〜10月までの間、月1回のヨットの体験日を設けました。ヨットは、35フィートの大型艇で定員は11人です。このヨットに毎回団員6人指導者2人が参加しています。団員には、「お客様

さらなる成長につながることを期待するところです。(感想文は4面)



小浜団

☆クリスマス家族会☆



小浜団では、12月20日に団員・保護者・指導者の計22名が参加し、クリスマス家族会を開催しました。当日は賞品を用意し、魚釣りゲームなど3つのゲームに、団員・保護者ともに真剣に、また楽しみながら取り組んでいました。特に、小豆

ンバーガーなどを食べながら談笑し、楽しいひとときを過ごしました。来年も、団員・保護者が一緒に楽しめる行事を企画していきたいと考えています。



対抗戦となり、大いに盛り上がりました。その後はハ



神戸団

☆年末恒例のクリスマス会☆

12月21日、今年最後の活動となる恒例の「クリスマス会」を開催しました。今年度は、新入団員

毎年お楽しみみのプチケーキやピザに加え、ビンゴの景品には、指導者が1年かけて集めたぬいぐるみやパティシエを目指す団員が作ったフィナンシェなどが並び、どれもみんな素晴らしいものでした。今年の神戸団の全活動はこれで無事終了となりました。一年間お疲れ様でした。

6名、3月に卒団予定の3名を含む団員17名、指導者9名の計26名が参加し、たいへん賑やかな会となりました。

クのおさらいを行って今年の活動納めとしました。続いてゲーム大会に移り、団員が持参したおはじきやトランプ、UNOなどのカードゲーム、レクリエーションゲームで楽しい時間を過ごしました。当日は皆がサンタクロースに変身し、最後は自分で用意したプレゼントを「みどりの広



姫路団

☆クリスマスプレゼント交換会☆

12月21日、姫路市城陽公民館において、クリスマス会を開催しました。当日は入団体験者1

名を迎え、お互いの自己紹介からスタートしました。最初に、前回行った水泳25m・50mを完泳した団員に完泳証が手渡され、その後、基本動作、手旗、ロープワー

スキー未経験の団員もいて、慣れるまでは苦労しましたが、安全第一で取り組み、実りある合宿となりました。予定日まで雪が少なく心配しましたが、直前には大雪となり、貴重な冬山体験をすることができました。



舞鶴団

☆初めてのスキー合宿☆

舞鶴団では、団員からの「スキーをやってみよう」という声を受け、1月31日滋賀県箱館山スキー場で初めてのスキー合宿を団員7

スキー未経験の団員もいて、慣れるまでは苦労しましたが、安全第一で取り組み、実りある合宿となりました。予定日まで雪が少なく心配しましたが、直前には大雪となり、貴重な冬山体験をすることができました。



